
第21回 日本水大賞
2019 日本ストックホルム青少年水大賞

受賞者へお祝いの言葉

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

栄えある「第21回日本水大賞」を受賞されました山陽女子中学校・高等学校地歴部の皆さんに心からお祝い申し上げます。

皆さんは瀬戸内海の海底ごみ問題の解決を目指して、十年以上にわたって海底ごみの回収・調査を行い、また、体験学習会や出前講座を開催するなどして地域の意識改革にも注力されてきました。これらの活動の継続性と多様な取り組みが評価され、今回の受賞に至ったとお聞きしています。

岡山県は自然豊かな瀬戸内海から漁場や景勝地などさまざまな恩恵を受けています。この自然環境への影響が懸念される海底ごみへの対策は課題となっており、皆さんの地域を巻き込んだの保全活動には大きな感銘を受けました。

海底ごみの問題は近年世界的に注目されており、皆さんも積極的に国内外の会議や学会などで発言されています。次世代を担う皆さんが先頭に立ち、問題解決に取り組む姿を頼もしく思うとともに、皆さんの活動が他地域にまで波及していくことを大変喜ばしく思っています。

最後に、皆さんの今後ますますの学校生活の充実を祈念するとともに、活動を支えてこられた関係者の方々のご尽力に敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

令和元年6月25日
岡山県知事 伊原木 隆太

祝 辞

「第21回日本水大賞」の各賞を受賞された皆様に関心からお祝いを申し上げます。

「堀川1000人調査隊2010実行委員会」の皆様は、民・官・学・産が連携し、市民の視点・感覚での調査を通じて水質改善に取り組まれ、「一般社団法人 ClearWaterProject」の皆様は、インターネットを介し豪雨被災地の資金を援助する新しいサービスや水辺環境改善サービス「AQMAP」の開発・運営を、また「みどりのまちづくりグループ」の皆様は、庄内川源流域の植樹活動などの自然体験活動や河川美化活動を長年に渡り多くの人々に展開されました。

このような、皆様の官民と協働した環境保全などの取組が高く評価され、今回の受賞につながったと存じます。

本県におきましても、住民団体と協働して河川沿いに地域の自然植生である樹木を植え、川辺の木陰づくり、緑のネットワーク形成及び良好な景観の形成を目指して「水辺の緑の回廊整備事業」を平成9年から実施するなど官民が一体となった取組も進めているところです。

受賞された皆様方におかれましては、今回の受賞を契機に、ますますご活動が発展し、さらに飛躍されますことを祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

令和元年6月25日
愛知県知事 大村 秀章

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第21回日本水大賞「環境大臣賞」を受賞された「ふるさとの川・荒川づくり協議会」の皆様、誠におめでとうございます。

ふるさとの川・荒川づくり協議会の皆様は、平成10年3月の発足以来、町内会、学校、関係団体等と連携のもと、河川を大切にする“こころ”を養う啓発活動や、自然環境の保全活動など、幅広い活動を繰り広げられ、荒川のより良い河川環境づくりに取り組んでこられました。

このたびの受賞は、皆様が20年以上にもわたり継続して、多くの個人や企業等の理解と協力を得ながら、多様な活動を進めてこられたことが、荒川を通じて地域における良好な水環境を創出する優れた取組として、高く評価された結果と考えております。

東日本大震災、原発事故から8年余が経過し、復興が進む中、皆様の取組は県民の誇りとなり、心に希望を与えるものと確信しております。

今回の受賞を契機として、皆様が今後ますます御活躍されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和元年 6 月25日
福島県知事 内堀 雅雄

祝 辞

「第21回日本水大賞・2019日本ストックホルム青少年水大賞」の各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

厚生労働大臣賞を受賞された「Japan National Young Water Professionals」の皆様は、セミナーやワークショップによる技術者間の情報共有や、学生の就職活動における水業界への意識付けなど、水業界を支える若手技術者の育成と入職促進に尽力されてきました。上下水道事業のベテラン職員の多くが退職期を迎え、若手技術者への技術継承が急務となる状況の中で、将来を見据えながら上下水道に関わる技術水準の確保・向上を図る優れた取組として、高く評価されたものと思います。

皆様の活動がこうした栄えある賞を受賞されたことは、上下水道事業を有し、都民のライフラインの維持に努めている東京都としましても大変心強く、まことに喜ばしい限りです。

受賞された皆様方におかれましては、今回の受賞を契機に、上下水道事業の持続的かつ安全安心な運営に向けて、益々ご活躍されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和元年 6 月25日
東京都知事 小池 百合子

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第21回日本水大賞「農林水産大臣賞」を受賞された「特定非営利活動法人 五泉トゲソの会」の皆様、誠におめでとうございます。

このたびの受賞は、農業用水路で発見された絶滅危惧種の淡水魚「トゲソ」に着目し、トゲソやきれいな水の保全活動を20年以上も継続して行い、さらに「とげそ米」などの農作物の生産販売を通じて地域農業や地域社会の振興につながる優れた取組みが高く評価されたものと喜ばしく思っております。

新潟県においても、「豊かな自然・環境の保全と未来への継承」に向けて、多様な主体が協働して、地域の生態系の保全や生物多様性への理解促進、豊かな水環境と触れ合う機会の創出などの取組みを推進しています。

こうした中、皆様方が長年にわたりトゲソの保全活動状況を全国発信するとともに、環境学習活動やESD学習を通じて、水環境保全の重要性を地域社会さらには次の世代へと伝えてきたことに心から敬意を表します。

今回の受賞を契機として、皆様方の活動がますます発展し、さらに飛躍されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和元年6月25日
新潟県知事 花角 英世

祝 辞

第21回日本水大賞「文部科学大臣賞」を受賞された「特定非営利活動法人 NPO富里のホタル」の皆様、心からお祝い申し上げます。

「NPO富里のホタル」の皆様は、印旛沼源流域に位置する富里市において、ホタル生息域を含む里山の多面的機能と下流域の印旛沼との水の繋がりを意識しながら、環境保全活動を行ってこられました。また、市内の子供たちに自然環境の豊かさを体感して欲しいとの考えから、多様な環境教育を行っており、現在では、1年間に延べ3,000人以上の子供たちが参加し、豊かな自然やふるさとの恵みを身近に体験しています。

これらの活動は、環境保全に係わる意識を次世代に繋げていくという目的の下で、年齢に応じて児童一人一人の学ぶ意欲を増進させる取組として、高く評価されたものと伺っております。

千葉県では、印旛沼をはじめとする河川・湖沼における水防災や水環境の改善などの課題に対して、地域の方々と協働した流域の水循環健全化に取り組んでいるところであり、受賞された皆様の活動に心から敬意を表します。

今回の受賞を契機に、皆様の活動がますます発展されることを祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

令和元年6月25日
千葉県知事 森田 健作

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第21回日本水大賞「経済産業大臣賞」を受賞されました「びわ湖エコアイデア倶楽部」の皆様、誠におめでとうございます。

このたびの御受賞は、「びわ湖エコアイデア倶楽部」の皆様が、暮らしと琵琶湖の関わりによって培われた食文化に着目し、体験を通じて世代をつなぐ活動を積み重ねてこられたことが高く評価されたものと伺っております。

滋賀県では、琵琶湖を「守る」こと、その結果得られる自然からの恵みを経済・社会活動で「活かす」こと、この活動を「支える」人育てや主体間での協働により、「琵琶湖と人との共生」に向けて県民総ぐるみの取組を推進しています。

そのために設置した、多様な主体が参画する場である「マザーレイクフォーラム」の運営にも「びわ湖エコアイデア倶楽部」の皆様の積極的な参画をいただいているところであり、日ごろからともに考え、行動してきた皆様が、こうした栄えある賞を受賞されたことは、誠に喜ばしい限りです。

今回の受賞を機に皆様は、さらに飛躍されること、ならびに皆様の活動の和がより一層広まることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和元年6月25日
滋賀県知事 三日月 大造

祝 辞

第21回日本水大賞「市民活動賞」を受賞されました「厚沢部町河川資源保護振興会」の皆様、心からお祝いを申し上げます。

皆様は、カワヤツメやアユの人工種苗生産・放流、生息調査をはじめ、厚沢部川水系に生息する水生生物の保護・増殖や河川環境保全に関する活動を、町や研究機関、地元小学校などと連携して実施されるとともに、土地改良区と協働した厚沢部川の清掃、草刈りの実施や、親子川釣り大会、川の生き物観察会の開催など、水生生物への理解を深める活動に取り組まれており、このたびの受賞はこうした皆様の取組が高く評価されたものと考えています。

これらの事業活動を半世紀の長きにわたり継続されてきたそのたゆみないご努力に深く敬意を表します。

皆様の活動は、多様な生物で構成される河川環境の保全や自然とのふれあいに取り組む方々にとって手本であり目標となるものです。

今回の受賞を契機に、更に活発な活動を展開されるとともに、本道の豊かな生物多様性が次の世代に引き継がれていくことを心より祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和元年6月25日
北海道知事 鈴木 直道

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第21回日本水大賞「国際貢献賞」を受賞された中本信忠様、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

中本様は微生物の力を最大限に活用した水の浄化法である「生物浄化法」の普及支援活動を通じて、インドネシア、スリランカ、バングラディッシュなどにおける浄化施設建設への協力や、サモア、フィジーでの現地指導などにご尽力されてきました。

こうした安全な飲料水を供給するための取組が、国際貢献として高く評価されましたことは、大変意義深いものであり、心から敬意を表します。

長野県では、県政運営の基本となる総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」において、国連が定めた持続可能な開発目標であるSDGsの考え方を取り入れ、水大気環境等の保全をはじめ、誰一人取り残さない社会の実現を目指した取組を推進しているところであり、こうした中での、今回の受賞は大変喜ばしい限りです。

結びに、今回の受賞を契機に、中本様が今後ますますご活躍されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和元年6月25日
長野県知事 阿部 守一

祝 辞

2019日本ストックホルム青少年水大賞を受賞された学校法人静岡理科大学静岡北高等学校科学部水質班の皆様、心からお祝い申し上げます。

この度の受賞は、茶粕を用いた酸化鉄の還元反応を利用して、低電圧で水の電気分解が起きることを発見し、効率的な水素製造装置の組み立てを試みて成果を上げたことや、廃棄物である茶粕と太陽光を利用した低コストで安全性の高い水素発生プラントの開発につながる可能性を示したこと、さらには廃棄物を利用した水素発生システムと水質の汚濁（リン）除去システムの開発に成功したことが高く評価されたものと伺っております。

静岡県は、富士山や南アルプスを源とする豊富な水資源に恵まれた「水の都」であるとともに、お茶の生産量日本一を誇る「茶の都」でもあります。本県の未来を担う皆さんがお茶からヒントを得て、茶粕の利用可能性を追求し、水問題の解決につながる道を切り拓いたことは大変意義深く、こうした栄えある賞を受賞されたことは、誠に喜ばしい限りです。

今回の受賞を励みに、皆様の活動がますます発展されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和元年6月25日
静岡県知事 川勝 平太

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

2019日本ストックホルム青少年水大賞「審査部会特別賞」を受賞された秋田県立秋田中央高等学校躍進探究部の皆様、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

この度、受賞された「秋田平野のため池における水生植物の生態と保全に関する研究」では、身近にある農業用ため池を研究フィールドとし、水生植物の生育環境や魚類による食害の関係などを明らかにするとともに、ため池を地域の共有財産として位置づけるなど、地域に密着した多様な視点からの研究であることが高く評価され、受賞されたものと伺っております。

「ため池」は、本県農業にとって欠かすことのできない重要な水源となっています。また、地域の安全・安心の確保のため、適切に管理・保全されることが重要となっていることから、農業者のみならず、地域全体で「ため池」を守っていくことが必要と考えております。

多様性に富んだ農村環境が次代へ引き継がれるよう、引き続き、本研究が進展されますとともに、今回の受賞を契機に、秋田県立秋田中央高等学校躍進探究部の活動が一層発展しますことを祈念しまして、お祝いの言葉とします。

令和元年 6 月 25 日
秋田県知事 佐竹 敬久